



平成 22 年 4 月 21 日

各 位

会社名 パルステック工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 熊谷 正史
(コード番号 6894 東証第二部)
問合せ先 取締役 杉本 英
(TEL. 053-522-5176)

コスト削減に向けた諸施策の継続に関するお知らせ

当社は、平成21年2月10日付で公表いたしました「コスト削減に向けた諸施策に関するお知らせ」につきまして、下記のとおり平成23年3月期において、継続することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. コスト削減に向けた諸施策の継続実施について

当社は、本日開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成 22 年 3 月期において損失を計上する見通しとなりました。

当業界におきましては、設備投資の凍結や先送りが緩和され、光ディスク関連や3Dスキャナなどの主力製品を中心に引き合いも活発化しており、明るい兆しが見え始めておりますが、経営体質の一層の強化を図るために、コスト削減に向けた諸施策を継続実施することといたしました。

2. コスト削減に向けた諸施策の継続内容

(1) 役員報酬の減額

月額報酬の 30%~60%の減額を継続します。

(2) 基本給の減額

35歳以上の従業員を対象に、基本給の最大20%（平均約8%）の減額を継続します。

(3) 役職手当の減額

すべての役職者を対象に、役職手当の一律30%の減額を継続します。

(4) 退職金ポイントの積立凍結

退職金ポイントの積立の凍結を継続します。

(確定拠出年金への積立は実施します。)

(5) 一時帰休の実施

一時帰休は次のとおり継続することとし、対象者には8割の休業手当を支給します。

一時帰休の実施に際しては、「中小企業緊急雇用安定助成金」を申請します。

① 全社一斉の一時帰休

出勤日となっているすべての土曜日(10日間)と4月30日を一斉休業日とします。

② ワークシェアリング型一時帰休

各部門でローテーションを組み、毎月2日/人程度の一時帰休を実施します。

3. 業績に与える影響

当期の業績に与える影響は、諸施策の実施により2億円強のコスト削減効果を見込んでおります。

以 上